

## 報告書の趣旨

愛知県がん対策推進条例（以下、「条例」という。）は、平成24年10月、がん対策に関する県の責務等を明らかにするとともに、がんの予防及び早期発見の推進、がん医療の充実その他のがん対策に関する施策の基本となる事項を定めることにより、がん対策に関する施策を総合的かつ計画的に推進することなどを目的として制定されました。

同条例第16条第2項では、「県は、毎年、がん対策に関する施策の実施状況に関する報告書を作成し、これを公表するものとする。」と定めており、この規定に基づき、平成27年度のがん対策に関する施策の実施状況をとりまとめました。

## 1 施策実施状況の概要

(1) 年齢・性・就労状況等に配慮したがん患者やその家族の方々の視点に立ったがん対策

### ① 女性特有のがんに係る対策

「女性特有のがん対策専門会議（平成25年度開催）」による提言を踏まえ、検診の受診推奨開始年齢の女性が多く所属する団体（PTA、大学）等と連携したセミナー等の啓発活動や女性が検診等を受診しやすい環境づくりのための医療機関に関する情報提供を実施しました。

#### ア 子宮頸がん大学連携セミナー

連携大学	日時・参加者
岡崎女子大学・岡崎女子短期大学	平成27年7月1日（水）午後2時50分～午後4時20分 参加者：75名
愛知学泉大学・愛知学泉短期大学	平成27年10月18日（日）午後1時30分～午後3時 参加者：35名

#### イ 乳がん予防推進連携講演会

連携団体	日時・参加者
愛知県農協健康保険組合	平成28年2月2日（火）、午後2時～午後3時30分 参加者：82名



(乳がん予防推進連携講演会)

## ウ 女性の医療機関等受診に資する情報提供

県のホームページに、土日の診療状況、女性医師の配置状況、市町村がん検診の受託状況を取りまとめた医療機関情報を掲載しました（愛知県産婦人科医会に所属する200床未満の病院及び診療所で掲載を希望した179医療機関について、平成27年5月29日付けで掲載）。

## ② 働く世代へのがん対策

「がん患者就労継続支援・がん検診促進検討会議（平成25～26年度開催）」による提言（平成27年3月）を踏まえ、働く世代のがん検診受診率向上やがんに罹っても働きながら治療を続けられる環境づくりに向けた啓発活動を実施。

### ア 働く世代のがん対策講演会

日時：平成27年10月7日（水）午後6時から

場所：愛知県産業労働センター 1203会議室

内容：がん専門医による講演及びがんサバイバーによる講演等

参加者：50名



### イ 働く世代のがん対策シンポジウム

日時：平成28年3月6日（日）午後2時から

場所：刈谷市産業振興センター 7階小ホール

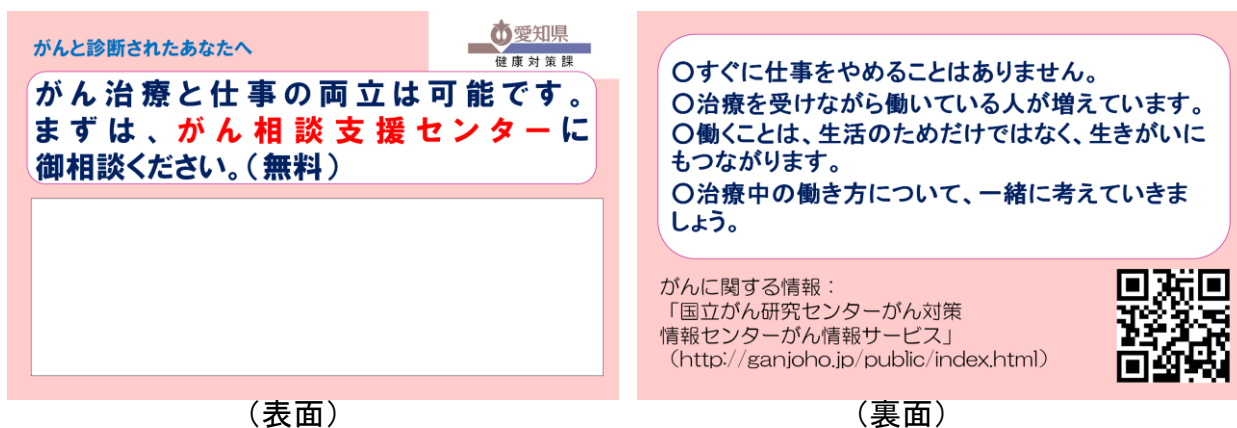
内容：がん専門医による講演及びがんサバイバー等によるパネルディスカッション

参加者：48名



## ウ がん診断時に担当医等から患者へ渡すカードの作成・配布

がん診断時に担当医から患者へ渡すカードを作成し、県内のがん診療連携拠点病院（17か所）及び愛知県がん診療連携病院（8か所）へ配布



エ がん患者の就労継続支援のために、本人、事業者及び担当医が情報提供で連携するための文書作成例の作成、周知

## オ 提言に基づくその他の関係機関等への働きかけ

- (ア) 愛知県がんサポートブック（地域の療養情報）の中に、がん治療と仕事の両立に役立てていただく情報を追加して、愛知県経営者協会の会員企業等へ配布
- (イ) がん診療連携拠点病院等へ患者基本情報の項目に就労に関する情報を追加するよう会議説明等で働きかけ

(ウ) がん治療と仕事を両立するための本人チェックリストの作成、周知

**がん治療と仕事を両立するためのチェックリスト**

**(1) がんと診断されてから治療開始まで**

① 担当医に病状、治療の内容及びスケジュール（治療計画）をよく確認する。	<input type="checkbox"/>
② 担当医の説明をふまえて、担当医や医療スタッフに治療と仕事の両立を望むことを伝える。	<input type="checkbox"/>
③ 担当医や医療スタッフに、自分の職場や仕事に関する情報（※1）を伝える。	<input type="checkbox"/>
④ 職場の就業規則の内容を確認し、休職・休暇などの制度を把握する。	<input type="checkbox"/>
⑤ 診療のこと以外でも、治療費や療養生活、治療と仕事の両立に関する疑問や悩み、不安がある場合は、相談窓口（※2）に相談する。	<input type="checkbox"/>
⑥ 職場の上司や人事担当者に、病状や治療計画を説明し、働き続けたいことを伝える。	<input type="checkbox"/>
⑦ 必要に応じて担当医に診断書の作成を依頼し、職場に提出する。	<input type="checkbox"/>

**(2) 治療開始から職場復帰時まで**

① 担当医に病状、治療計画及び職場復帰に向けた注意点を確認する。	<input type="checkbox"/>
② 職場復帰に関する不安や疑問は、担当医や相談窓口（※2）に相談する。	<input type="checkbox"/>
③ 必要に応じて担当医に診断書（※3）の作成を依頼し、職場に提出する。	<input type="checkbox"/>
④ 職場の上司や人事担当者に病状や今後の治療計画を伝える。	<input type="checkbox"/>
⑤ 職場の上司や人事担当者に就労が可能であることを伝え、就労上の制限や配慮など復帰に向けて必要なことを相談する。	<input type="checkbox"/>

**(3) 職場に復帰した後（通院治療中を含む）**

① 病状及び就労上の制限や配慮などについて、職場の理解と協力が得られるように努める。	<input type="checkbox"/>
② 服薬や療養上の注意点について担当医の指示に従い、定期的に診療を受ける。	<input type="checkbox"/>
③ 治療の節目には、担当医に病状や今後の治療計画についてよく確認する。	<input type="checkbox"/>
④ 病状の変化に応じて、就労上の制限や配慮すべきことも変わっていくため、職場と医療機関の情報のやりとり積極的に取り組む。（必要に応じて診断書（※3）を提出する。）	<input type="checkbox"/>
⑤ 担当医に相談して、できる限り仕事に影響が少ない通院日時を確保する。	<input type="checkbox"/>
⑥ 病状の変化を感じた場合は、職場に報告するとともに、速やかに受診する。	<input type="checkbox"/>

**※1 担当医や医療スタッフに伝えることが望ましい情報**

- ・採用の身分（正職員、パート、アルバイト等）
- ・業種（農業、建設業、サービス業など）
- ・職種（事務職、専門職・技術職、営業職など）
- ・役職、職位
- ・職場への通勤状況（距離、方法、時間）
- ・就労時間、就労日数
- ・時間外勤務の頻度、時間
- ・休職・休暇制度

**※2 相談窓口**

がん診療連携拠点病院等の相談窓口：がん相談支援センター

拠点病院以外の医療機関の相談窓口：医療福祉相談窓口、患者相談窓口など

【相談窓口での就労等に関する主な相談内容】

- ・職場への病状の伝え方
- ・治療との両立に関する悩みや不安
- ・休職のしかたや休職中の健康保険給付について
- ・職場復帰に向けての職場への対応について

**※3 担当医に確認すべき（診断書の中に盛り込むことを求める）情報**

- ・現時点での「就労」の可否や「就労可能」となる時期
- ・治療計画
- ・治療により生じる可能性のある副作用や障害
- ・就労上の制限や配慮

### ③ 小児がん患者の復学支援

#### ア 講演会「小児がん患者に対する医療と復学支援」

県内の教育関係者及び医療関係者等を対象に、小児がん患者に対する医療や復学支援の取組及び課題等をテーマとした講演会を開催しました。

日時：平成27年8月7日（金）

午後3時から

場所：県庁内会議室

参加者：70名



### ④ がん患者・家族に対するピア・サポート

#### ア がん患者・家族に対する相談支援事業

がん患者支援活動を行っている団体に委託して、がん治療経験者による電話相談を実施しました。

委託先：特定非営利活動法人ミーネット

実施日数：45日、利用者数：69名

## (2) 県内どこに住んでいても病状に応じた適切ながん治療や緩和ケアを受けられるがん対策の推進

### ① がん医療の充実のための取組

#### ア がん診療連携拠点病院の整備等

国が制度化しているがん診療連携拠点病院を国へ推薦し、指定を受けて地域におけるがん医療水準の向上とがん診療連携の強化を図っています。（17病院）

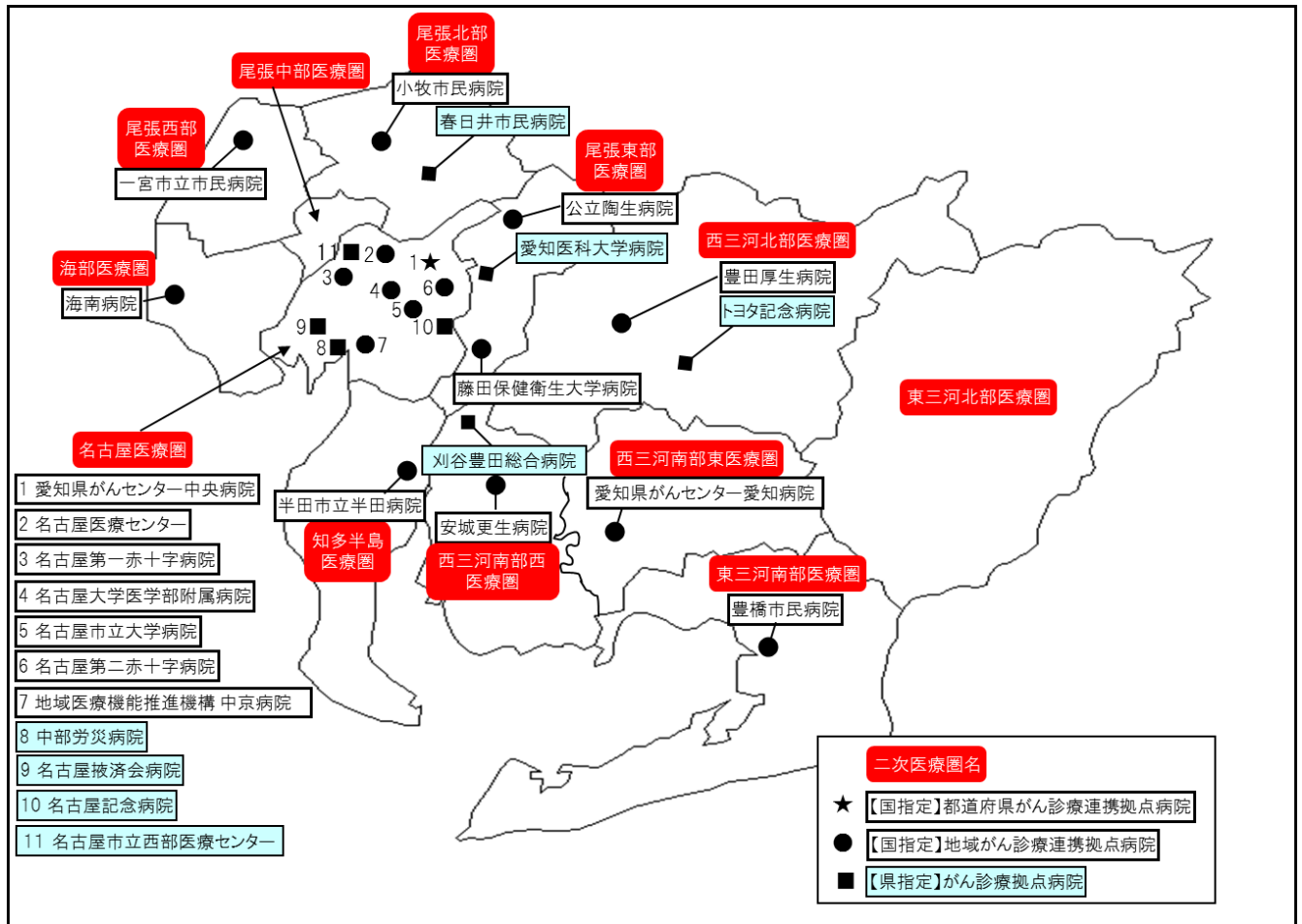
また、県独自に国指定制度に準じる要件をもって愛知県がん診療拠点病院を指定し、がん診療体制の強化を図っています。（8病院）

平成27年度から、拠点病院が有すべき機能、各病院の診療実績及び県計画の目標の達成状況をホームページに掲載しました。

【掲載した情報】

- ・拠点病院の主な指定要件（診療機能、医療施設、人員配置等）に関する説明
- ・がん診療連携拠点病院の診療実績（院内がん登録、手術、放射線治療、化学療法等の実績）
- ・愛知県がん対策推進計画(第2期)における目標数値としている診療報酬に係る施設基準、医療従事者の配置等の達成状況

【愛知県内のがん診療連携拠点病院・がん診療拠点病院（平成27年4月1日現在）】



イ がん診療連携拠点病院に対する補助事業

がん診療連携拠点病院に対する補助事業を行って、がん相談支援事業や医療従事者に対する研修などの取組を促進しました。

【がん診療連携拠点病院等が実施する緩和ケア研修会の実績】

実施病院数：28病院（開催回数：33回）

受講者：624名

② がん患者・家族に対する情報提供

ア がん相談支援センターにおける相談状況の県 HP への掲載（平成 26 年度から）

県のホームページに、従来から掲載してきたがん相談支援センターの一覧に加えて、相談支援センターの役割を県民の皆様に一層分かりやすくお伝えするため、相談内容別の相談件数や病院別の相談件数を掲載しています。

イ がん患者支援を行う団体の県 HP への掲載（平成 25 年度から）

がん患者・家族の方々に対する支援を行う団体の情報を提供し、がん患者さんの療養生活の質の向上に資するため、「愛知県がん患者支援団体ホームページ等掲載要領」を制定し、届出のあった団体を県ホームページに掲載しています。

(3) がんの正しい知識の普及啓発・教育を通じて、がんの予防・早期発見を進めるがん対策の推進

① がん予防の啓発

たばこの健康への影響に関する知識普及について、街頭啓発や県ホームページでの各種情報の提供等により実施しました。



(啓発ポスター)

② がんの早期発見に関する取組

ア がん検診受診の啓発

検診受診率向上のため、10月の啓発強化月間を中心に啓発ポスターの配布、街頭啓発等の啓発活動を実施しました。

イ がん検診精度管理委員会の開催

市町村がん検診の精度向上のための実施結果調査、分析及び要改善事項に関する技術的助言を実施しました。



#### ウ がん検診従事者講習会の開催

検診機関等においてがん検診に従事する者の資質向上のため、がん検診従事者講習会を開催しました。

内容：細胞診検診従事者講習会始め4講習会

受講者：174名

### ③ がん教育の充実のための取組

#### ア 中学生に対するがん教育出前講座

日時：平成28年1月28日（木） 午後3時15分から

場所：弥富市立十四山中学校

参加者：47名



#### イ 中学校教諭を対象としたがん教育研修会の開催

日時：平成28年2月5日（金）午後2時から

場所：愛知県がんセンター国際医学交流センター 大会議室

内容：保健体育教諭が中学生にがん教育を行うための背景知識や教材（授業等で活用できるパワーポイント資料・リーフレット）の解説等。

参加者：38名

## ウ 中学生向け「がん教育リーフレット」の作成

中学校の保健体育の教科学習等において活用していただくことを目的に「がん教育リーフレット」及び教員向けの指導参考用解説書を作成し、HP 掲載及び関係機関への周知を行いました。

全国の中学生向け「がん教育リーフレット」

### がんについて学ぼう！

皆さんは、がんについてどんなイメージを持っていますか？また、知っていることはありますか？学習の前に自由に書いてみましょう。

---

#### 1. 「がん」はどんな病気？

現在日本では、年間約38万人ががんで亡くなっており、死亡原因の第1位となっています。愛知県でも、昭和55年(1980年)以降、がんは専ら死亡原因の第1位です。日本人の2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなるといわれており、**がんは私たちにとって身近な病気**です。

【死亡の原因(全国)】

がん	28.4%	(106,331人)
その他	24.4%	(93,567人)
心疾患	13.3%	(49,639人)
脳血管疾患	9.6%	(35,666人)
肺炎	6.4%	(23,824人)
交通事故	3.2%	(11,929人)
腎不全	1.9%	(7,079人)
自殺	1.9%	(7,079人)

【愛知県の死因別死亡率の推移】

【がんができる仕組みを知ろう！】

私たちの体は、多くの細胞からできています。細胞は毎日細胞分裂をして、新しい細胞を作っていますが、細胞の遺伝子に傷がつき、異常な細胞ができることがあります【細胞のミスコピー】。

がん細胞ができて、免疫細胞ががん細胞を攻撃してくれますが、免疫細胞に見逃されたがん細胞が増え続けるのがんになります。

「がん」は、できた細胞にとどまらず、体の正常な部分や血管の中に入り込み、広がっていきます【転移】。

細胞のミスコピーは体の体でおこるもので、誰でもがんになる可能性があります。

【がんになる仕組み】

- 正常な状態
- 遺伝子に傷が付き、異常な細胞ができる
- 異常な細胞が増殖する(がん化)
- 異常な細胞ががたまりになる(腫瘍形成)、周囲に広がりがよくなる
- 血管などに入り込み、全身に広がる(転移・浸潤)

図説: 国立がん研究センターがん情報サービスセンター

【主ながんについて知ろう！】

がんは、一般的には発生した細胞や組織による分類などから名称が決まります。日本人に多いがんは、下の図に示すがんです。また、右の円グラフに示すように、**男性によって、かかる人が多いがんは異なる**ります。

【男性の専ら罹患割合】 n=24,559

肺	28.1%
大腸	15.7%
前立腺	15.3%
胃	10.9%
その他	30.9%
肝臓	9.5%

【女性の専ら罹患割合】 n=17,133

乳がん	25.7%
大腸	16.9%
胃	15.3%
肺	13.9%
子宮	7.4%
その他	24.4%

図説: 国立がん研究センター

【がんの原因を知ろう！】

○**がんになりやすい年齢**  
人間は老化すると、細胞のミスコピーを起こしやすくなるため、多くのがんは、40歳代から多くなり、年齢が上がるにつれて増えていきます。ただし、若い世代が全くならないわけではありません。

○**がんになるリスクを高める原因**  
がんの研究が進み、がんになるリスクを高める原因が科学的に証明されるようになっていきます。でも、**がんが発生する原因はひとつではなく、さまざまな原因が長い年月にわたって累積している**と考えられています。

①生活習慣  
喫煙、多量の飲酒、運動不足【大腸がん】、自分の多量摂取【胃がん】など  
※喫煙と多量の飲酒は、多くのがんの原因となります。  
特に、たばこの「肺がん」への影響は大きく、たばこを吸う人のがんになる確率は、吸わない人に比べ、男性で約4倍、女性で約3倍高くなります。

②細菌・ウイルスの感染  
ヘリコバクターピロリ菌【胃がん】  
ヒトパピローマウイルス【子宮頸がん】  
B型肝炎ウイルス【肝臓がん】

③発がん性の物質  
放射線、アスベストなど

④遺伝性のがん  
部位によって異なりますが、全体のがんの1%～5%程度、遺伝性のがんがあることが分かっています。

(がん教育リーフレット)

## (4) がんの研究等を踏まえたがん対策の推進

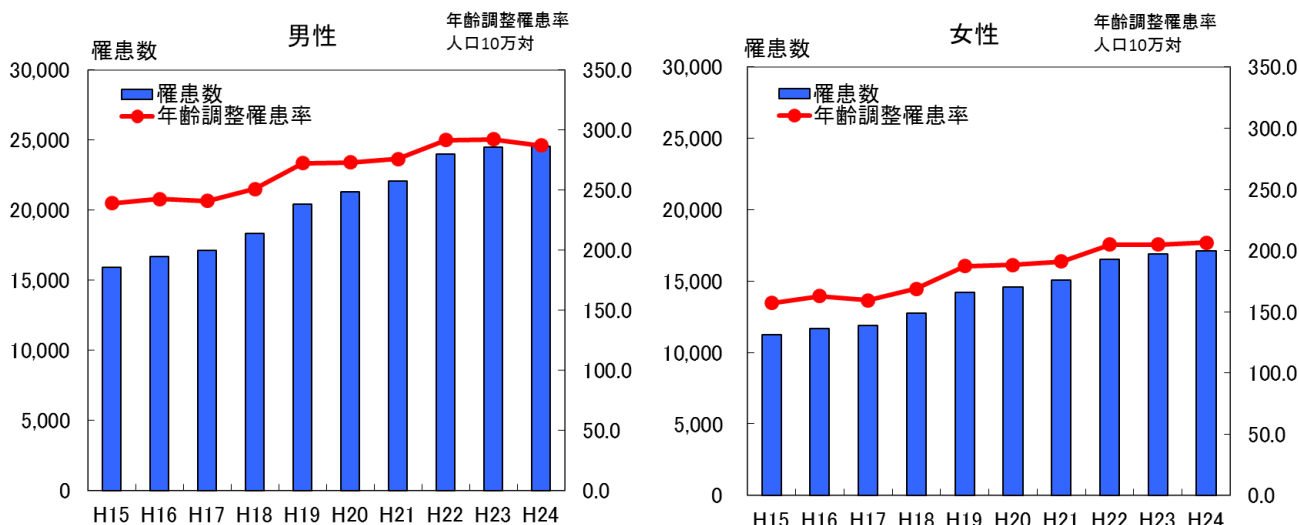
### ① がん罹患状況等の把握、分析

#### ア 地域がん登録事業

県民のがん罹患状況を把握する地域がん登録を引き続き実施し、平成24年分のがん罹患データを算出・公表しました。平成24年に愛知県在住で新たにがんと診断された数は41,690件(男性延べ24,559件、女性延べ17,131件)でした。

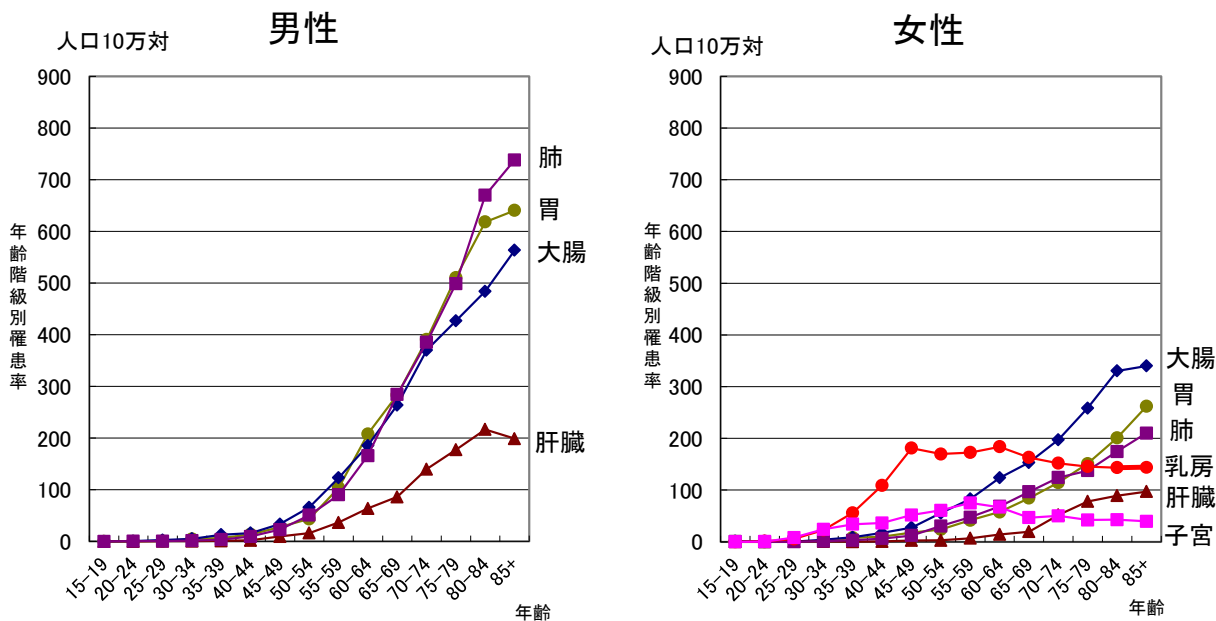
## ■がん罹患数・罹患率の推移（平成15年から平成24年）

がん罹患数は、引き続き増加傾向にあります。近年は増加傾向が鈍化しています。



## ■部位別・年齢階級別罹患率（人口10万対、平成24年罹患分）

年齢階級別に罹患率を見ると、男性では各部位とも40代後半から急激に増加していき、70代前半までは胃がん、大腸がん及び肺がんがほぼ同じような罹患率となり、70代後半からは肺がんが最も高くなっています。女性では60代までは乳がんの罹患率が最も高いですが、70歳以上では大腸がんの罹患率が最も高くなっています。



## 2 がん対策に関する施策の実施状況に係る進行管理について

本県では、関係団体並びに有識者等によって構成される「愛知県健康づくり推進協議会がん対策部会」を開催し、条例に基づき策定した「愛知県がん対策推進計画（第2期）」に目標の達成状況や取組状況等を適宜報告し、評価することにより、計画の進行管理を行うこととしています。

下記のとおり同部会を開催して県当局から平成27年度の目標達成状況、施策実施状況及び今後の取組の方向性案について報告し、ご意見をいただきました。

### 記

○ 開催日時

日時 平成28年1月29日（金）午後2時～午後4時

○ 構成員

所属・職名	氏名
名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知・行動医学分野 教授	明智 龍男
認定NPO法人あいち骨髄バンクを支援する会	朝倉 三恵
名古屋大学医学部附属病院 化学療法部 教授	安藤 雄一
尾張旭市健康福祉部健康課 健康係長	加藤ひとみ
愛知県がんセンター 総長	木下 平
名古屋大学大学院医学研究科小児科学 教授	小島 勢二
藤田保健衛生大学医学部放射線腫瘍科 教授	小林 英敏
東郷町健康部健康課 課長	小山 美紀
愛知県豊川保健所 所長	柴田 和顯
名古屋市健康増進課 主幹	杉原 秀樹
愛知県がんセンター中央病院 副院長兼看護部長	高木 仁美
愛知県がんセンター研究所 疫学・予防部長	田中 英夫
愛知県がんセンター中央病院 院長	丹羽 康正
NPO法人ミーネット 理事長	花井 美紀
愛知県経営者協会 会員サービスグループ部長	東村 誠
愛知県がんセンター中央病院 呼吸器内科部長	樋田 豊明
国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター長	堀部 敬三
公益社団法人愛知県医師会 理事	森 孝生